

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【公開番号】特開2013-125838(P2013-125838A)

【公開日】平成25年6月24日(2013.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-033

【出願番号】特願2011-273395(P2011-273395)

【国際特許分類】

H 0 1 F 41/06 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 F 41/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月22日(2013.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

しかも、第1～第3の各サーボモータ43, 53, 76は、3軸の回転の同期制御ができるようにして配設されている。具体的には、例えば図4に示すように、装置本体11が備える制御ボックス81に設けられているタッチパネル82を操作することにより、必要なパラメータを設定した上で、さらに線材101の巻速度(加速、減速)や巻方向(時計方向、反時計方向)や送り(巻数)などを設定し、コントローラ83から各サーボ制御手段84に対応する制御信号を送ることで第1～第3の各サーボモータ43, 53, 76の3軸の回転を所定のプログラムに基づいて同期制御することができるようになっている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

- 11 装置本体
- 12 基台
- 13 ガイドパイプ
- 13 a 始端
- 13 b 終端
- 14 中空部
- 15 線材導入スリット
- 16 支柱
- 17 支持部
- 17 a 前端開口部
- 23 一側チャック
- 24 カブラー
- 33 他側チャック
- 34 カブラー
- 43 第1サーボモータ
- 44 固定片

- 5 3 第 2 サーボモータ
- 5 4 可動片
- 5 5 レール
- 5 6 引っ張り用コイルバネ
- 5 6 a 一端部
- 5 6 b 他端部
- 5 7 固定具
- 6 3 テンションユニット
- 6 4 線材供給部
- 6 5 走行体
- 6 6 ボビン
- 6 7 位置検出手段
- 7 3 アクチュエータ
- 7 4 ケーシング
- 7 4 a , 7 4 b ガイド溝
- 7 5 カプラー
- 7 6 第 3 サーボモータ
- 8 1 制御ボックス
- 8 2 タッチパネル
- 8 3 コントローラ
- 8 4 サーボ制御手段
- 1 0 1 可撓性被巻線材
- 1 0 1 a 一端部
- 1 0 1 b 他端部
- 1 0 2 線材

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 4 】

